



山岳 おおさか

<http://sangaku-osaka.com/>

No.223

令和2年冬号 2020年1月20日発行 | 〒537-0014 大阪市東成区大今里西2-5-12 TEL 06-6973-3675 FAX 06-7504-4214 yamaosaka@hera.eonet.ne.jp

シリーズ 道迷い遭難防止に役立てる… 第2弾 自分自身の「ナビゲーション力」を高めよう!

第6回では、「『微地形』で通過地点を見つける」というテーマで、通過地点として見逃しやすい、登山道に沿った地形の特徴を解説しました。今回は応用編として、森林限界を抜けた裸地や雪原にも活かせる、地形と地形図の読み方を解説します。

第7回のテーマ 等高線1本分(※)も逃さない… (※)1/25000地図では、等高線1本の間隔は10m

『裸地丘陵』で現在地を見つける〈初・中級編〉

樹林帯の1本道で森林限界を越えるなど裸地に出たとたん、踏跡がわからなくなった? また雪原で目標物を見失い、現在地がわからなくなった? そのようなことがないよう、裸地や微地形では特に地形の変化に気を配ることが重要になります。

写真A は、神戸市、宝塚市、三田市にまたがる大岩岳から南西方向に延びる **図1** の登山道を①から歩き、突然開けた裸地(平地)に出たところです。それまでは樹林帯の1本道で不安はありませんでしたが、突然踏跡がわからなくなり現在地を確認することにしました。



写真A



図1

地形図に①から⑦まで、約100mおきにポイントを作りました(**図1**)。⑤から⑥にかけて広い平地が広がっているように見えます。広がり具合から見て、**写真A** の地点はこの場所でしょうか?

ここで、微地形の特徴を確認しましょう。国土地理院地図1/25000では、等高線は高さ10mごとに表します。等高線内であれば、マンション3階に相当する高さ10m未満のアップダウンは判断できません。

従って、等高線1本をまたぐ際の高低差は最大約19mにもなり、傾斜が緩いと思っていたら、マンションの6Fから一気に地上へかけ下りのような急坂だった! ということもあり得るのです。(**図2**)

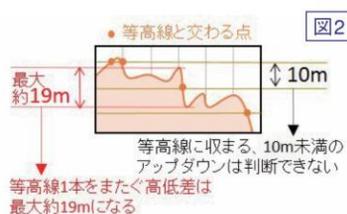


図2

〈前ページより〉



図3は、①から⑦までの道沿いの縦断面図です(※)。①を過ぎたあたりから④の先まで続く緩やかな傾斜は標高280m~270m内に、また④の先にある急な下りや⑤⑥間の小山は標高270m~260m内に収まっているため、等高線には表われません。

つまり地形図では、①~④の先まで、また④の先~⑥の先までは、アップダウンなのか平地なのか細かい判断ができないのです。



(※カシミールによる断面図を、図面化したものです。)

図3

Point

歩いてきた地形の変化を見逃さない

微地形が続く場所で現在地を特定する場合、平地の広がり具合を地形図の等高線だけで判断せず、歩いてきた周辺地形の変化を見逃さないことが重要です。つまり、写真A地点だけの地形で判断せず、①から③までに見えていた北西側の深い谷がどこで浅くなり、そのあとどういう地形を歩いたのか、その変化がポイントになります。

写真Aが、図1の③までにあった深い谷のすぐ先なら現在地は④となり、北西方向(進行方向・右)に谷が迫ってくる地点なら⑤ということになります。実際に歩くと、深い谷が浅くなったすぐ先に裸地(平地)が現れましたので、写真Aは④が正解です。

図4

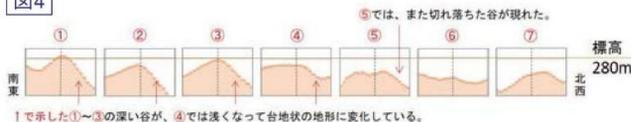


図4は①~⑦地点の、幅約100m、高さ約40mの断面図です。①から③まで、北西側(図右側)は谷が深く切れ落ちて南東側(図左側)はなだらかな谷の尾根道が、④では北西、南東両側の谷が浅くなって台地状になっています。

北西側の谷だけを見ても、地形を意識して歩いていけば、③から④の変化が明らかなのがよくわかりますね。

普段から地形を意識して歩くことで、道迷い遭難を未然に防ぎましょう!



Point

進んでいる道の磁方位を確認する



図5のように、④⑤⑥では、それぞれ歩いてきた方向が変わりますので、進んでいる道の磁方位を確認することで、現在地を推測することもできます。



また怪しいと思ったら、周りを偵察して地形を確認するのも有効です。(④の場合、方向を変えずに直進すると、左手に切れた谷が現れる。写真B)



- 指導監修/青山千彰(あおやまちあき)長年、道迷い遭難のメカニズム解明に取り組む。関西大学名誉教授(工学博士)、国際山岳連盟UIAA委員、(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会遭難対策常任委員等
- 取材日/2019年11月30日(土)
- 取材協力/(読者)山下雅子さん、柿本昌邦さん
- 協力/日本山岳SAR研究機構、大阪府勤労者山岳会
- 取材場所/JR道場駅周辺(神戸市)
- 取材/佐伯典昭(大阪府山岳連盟)
- ※地図出所/国土地理院電子地形図1/25000



取材にはどなたでも参加できます。「山岳おおさか」係り宛てにメールにてお問い合わせください。

Eメール